

世界各国の土木技術者が花尾小学校と交流！



86人の小学生とのワクワク・ドキドキ交流

インドネシア、ウガンダ、エジプト、ガーナ、ザンビア、スリランカ、タンザニア、ミャンマーなど世界18カ国からの土木技術者が、2月16日に来日し、長崎大学工学部にて橋梁維持管理の研修に参加します。長崎大学での本格的研修が始まる前に、研修員が日本への理解を深めるため、さらに研修員との交流により地域の国際協力活動への理解増進に貢献できるように地域文化行事として交流プログラムを行っています。

今回、2月19日(水)の午前中、花尾小学校3年生の86名の子どもたちと交流することとなりました。花尾小学校は、「知・徳・体・食の調和のとれた心身ともに健康な児童の育成」を目指し、人や地域を大切にし、文化を受け継ぐ活動にも取り組んでいる八幡の中心部にある小学校です。今年はオリンピッククイヤーを迎え、さらにワクワク・ドキドキがいっぱいの国際交流になりますので、取材・報道をぜひご検討ください。



- 研修名 : 橋梁維持管理研修
- 研修員出身国 : ブータン、コンゴ民主共和国、エジプト、ガーナ、ギニア、インドネシア、ラオス、ミャンマー、ニカラグア、フィリピン、セントルシア、南スーダン、スリランカ、タンザニア、ウガンダ、ウクライナ、ザンビア 計19名
- 取材可能な日程(取材申し込みは、以下問合せ先までご連絡ください)

日時	内容	場所
2/19(水) 9:50~11:50	研修員からの自国の紹介、日本文化紹介、日本の遊び、生徒による歌、質問タイムなど	北九州市立 花尾小学校 北九州市八幡東区祇園一丁目6番1号

※本プレスリリースはウェブサイトでもご覧いただけます。 <https://www.jica.go.jp/kyushu/press/index.html>